

科目名	現代社会論<各論> 「子ども家庭福祉」		担当教員	小木曾 宏		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜資料を配布。	単位数 授業形態	4単位 (総論とあわせて)	演習	開講時期	通年
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b> 社会的養護と子ども家庭福祉という視点から、現代の子ども達の現状を多角的に理解できること。具体的には「子ども虐待」「ストリートチルドレン」等の実態について理解し、フィールドワークを通してより確実な知識を得て、自己の活動、今後の自己実現の一助とすることを到達目標とする。</p> <p><b>■授業の概要</b> ・理念と現状―「子ども虐待」問題を中心に考える・外国の状況を知ることで日本の現状を比較検討する。(ビデオ教材等使用) ・制度と実践―児童福祉実施体制について理解する。(機関連携の実際・施設見学・福祉従事者の講義) ・方法と技術―具体的に学生諸君が「現場」において、活用できる援助の方法と技術を、事例、ロールプレイングを通して学ぶ。 現代社会において、子どもや家庭、そして学校等で起きている「被虐待」や「問題行動」に対し、多角的に考える場としたい。そして、具体的に福祉的援助・関わりとは何かも考える。援助技術としても子どもの問題の「原因」「結果」を追求するのではなく、我々も「主体」であるという視点から子どもとの「より良い関係」づくりを、探っていく。 事例検討、施設見学、福祉現場に従事する方々(ゲスト・スピーカー)のお話をお聴きすることで、児童福祉領域の理解を深め、将来の保育士として、実践につながる授業としたい。</p> <p><b>■授業計画</b> &lt;子どもの現状&gt; 第1回 「養護」「不登校」「被虐待」「非行」について① ビデオ視聴、ゲストによる講義 第2回 「養護」「不登校」「被虐待」「非行」について② 第3回 「養護」「不登校」「被虐待」「非行」について③ 第4回 「養護」「不登校」「被虐待」「非行」について④ 第5回 「養護」「不登校」「被虐待」「非行」について⑤ 第6回 「養護」「不登校」「被虐待」「非行」について⑥ &lt;制度と実施&gt; 第7回 講義と施設見学(児童福祉施設・児童相談所等)① 「子ども虐待」に関する法律、制度を学び、できれば施設を見学する 第8回 講義と施設見学(児童福祉施設・児童相談所等)② 第9回 講義と施設見学(児童福祉施設・児童相談所等)③ 第10回 講義と施設見学(児童福祉施設・児童相談所等)④ 第11回 講義と施設見学(児童福祉施設・児童相談所等)⑤ 第12回 講義と施設見学(児童福祉施設・児童相談所等)⑥ &lt;方法と技術&gt; 第13回 家族療法的アプローチ① 実際の事例を通して、子ども、家族の理解と援助のあり方を学ぶ 第14回 家族療法的アプローチ② 第15回 家族療法的アプローチ③ 第16回 家族療法的アプローチ④ 第17回 ストリートチルドレンの現状と支援について① 第18回 ストリートチルドレンの現状と支援について② 第19回 ストリートチルドレンの現状と支援について③ 第20回 各論のまとめと総論の発表準備① 第21回 各論のまとめと総論の発表準備②</p> <p><b>■準備学習</b> ・授業で指定した課題に取り組んだ上で、次回の授業に出席のこと。 ・児童福祉領域について状況を理解すること。 ・フィールドワークの際、積極的に質問事項を考えること。 ・その他、必要に応じて課題の提示に取り組むこと。</p> <p><b>■評価方法</b> ・授業に対する意欲(討議への積極的な取り組み、発言内容) — 20% ・レポートとその内容 — 30% ・施設見学への参加及び取り組み — 50%</p>						
参考文献	小木曾・宮本・鈴木編「よくわかる社会的養護内容」ミネルヴァ書房		特記事項	施設見学の交通費の自己負担があります。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼保	教養科目		